

平成19年12月6日

各位

会社名 株式会社エーアンドエーマテリアル
代表者 代表取締役社長 重 富 光 人
コード番号 5391 (東証第1部)
問合せ先 取締役常務執行役員 久野 健二
電話番号 045-503-5771

当社建材を使用する防耐火構造に関するご報告

当社建材を使用する防耐火構造に関し、下記の通りご報告いたします。

当社は、当社が製造・販売する建材製品の不燃性能、および当社が推奨する構造方法の防耐火性能に関しては、それぞれの「国土交通大臣認定の適正な取得」は申すまでもなく、コンプライアンスおよびCSRの観点から、「全ての製品および推奨構造の性能を、最低限“最終ユーザーの皆様の建物が火災に遭われたときにも、法規に定められた安全を保證できるレベル”を確保するものとし、さらにレベルアップに努めること」を基本といたしております。

今般問題となった国土交通大臣認定の適正性に関しては、当社では先ず、技術開発研究所ほか社内関係者に対する事情聴取およびデータチェックを主体に、徹底的な調査を行いました。その結果、上記関連の大臣認定取得過程における不正の事実ないしその疑いは発見できませんでした。

その後引き続き、個々の製品および構造方法の不燃性能および防耐火性能を再確認するため、加熱試験およびデータの検証を含め、厳格な調査を行っております。

当社が製造・販売する建材製品および推奨する構造ならびに、それらに係わる国土交通大臣認定は大変多数にのぼるため、全ての調査完了にはなお相当の長期間を要しますが、とりあえず、今般問題となったけいカル板を使用する3種類の構造に関連する事柄をご報告いたします。

1. けいカル板と石膏ボードの両面張り鉄骨中空 間仕切壁構造について

今般問題となった「繊維混入けい酸カルシウム板(6mm他)+石膏ボード(12.5mm他)で構成する 乾式耐火間仕切壁 1時間耐火」とほぼ同じ内容のもの(但し、空気層厚が異なる)として、当社には「繊維混入けい酸カルシウム板(6mm他)+石膏ボード(12.5mm他)両面張り鉄骨中空 間仕切壁構造の1時間耐火=認定番号:FP060NP-0021=構造商品名:どっちも耐火60E」があります。

これの耐火性能については、当社技術開発研究所において認定書に記載された仕様の

もとで加熱試験を行った結果、認定性能を満たすデータが得られました。

2. けいカル板の両面張り鉄骨中空 間仕切壁構造について

同じく問題となった「繊維混入けい酸カルシウム板(けいカル板) (6 mm+8 mm=14 mm) で構成する 乾式耐火間仕切壁 1時間耐火」と同じ内容の認定は、当社は保有しておりません。

3. けいカル板を使用する住宅用軒裏天井構造について

同じく問題となった「繊維混入けい酸カルシウム板(けいカル板) (11 mm)を使用する住宅用軒裏天井材 45分準耐火 および30分準耐火」、ならびに「けいカル板(16 mm)を使用する1時間準耐火」と同じ内容の認定は、当社は保有しておりません。

*. 防耐火構造の間仕切壁の設計・施工に関する技術的な情報を、当社ホームページ「製品トピックス」欄に掲載しておりますので、関係者の皆様には是非ご覧下さいますよう、ご案内申し上げます。

[URL ; http://www2.aa-material.co.jp/topics/prd_topics.html]

本件に関するお問い合わせ先

建材事業部建材営業部

電話番号 045-503-5771

以上